

令和 1 年 9 月 5 日

(臨床研究に関するお知らせ)**社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科に、消化器疾患で通院歴のある患者さんへ**

社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

消化器内科病棟での転倒・転落の傾向

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科 看護師 奈良崎由香

3. 研究の目的

当病棟は消化器内科の患者が多く、検査に伴う鎮痛剤の使用頻度が高い。また、アルコール離脱症状や肝性脳症、吐下血など疾患に伴う意識レベルの低下や不穏行動も転倒リスク要因である。転倒リスクの高い対象には、離床センサーを使用するなどの早期の転倒・転落予防策が行っているが疾患に伴う転倒リスク評価は難しく対策が十分ではないため転倒・転落が発生している現状である。消化器病棟での特徴を把握し、今後転倒・転落の減少につなげていくため。

4. 研究実施予定期間 2108 年 4 月 1 日か 2019 年 9 月 30 日**5. 研究の概要****(1) 対象となる患者さん**

消化器疾患の患者さんで、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日までの期間中に、転倒・転落した患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、転倒転落した患者の情報、発生時間、発生場所、年齢、主疾患、転倒歴の有無、入院から何日目の転倒か、認知症の有無、浮腫、腹水の有無、貧血の有無、ルート類の使用、ADL、転倒転落アセスメントシートの点数、計画の立案の有無、離床センサー使用の有無、薬剤使用の有無、何をしようとして転倒したか、見当識の有無、転倒時にセデーションを使用する検査を行っていたかに関する情報です。

(3) 方法

コホート研究

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

〒555-0034 大阪市西淀川区福町 3 丁目 2-39

社会医療法人愛仁会千船病院

TEL : 06-6471-9541 FAX : 06-6474-0069